

## 令和元年度 下半期の業務概況

### 1 事業の概況

令和元年度下半期における業務の概況は、次のとおりとなりました。

用水供給状況

(単位 m<sup>3</sup>)

区 分	本 年 度 上 半 期	本 年 度 下 半 期	計
帯 広 市	3,162,971	3,080,989	6,243,960
音 更 町	983,966	851,902	1,835,868
幕 別 町	1,246,676	1,250,625	2,497,301
芽 室 町	721,562	706,480	1,428,042
池 田 町	373,529	352,585	726,114
中 札 内 村	205,730	244,768	450,498
更 別 村	159,991	132,959	292,950
計	6,854,425	6,620,308	13,474,733

本年度は、年間送水量 13,514,325 m<sup>3</sup>に対し、有収水量は 13,474,733 m<sup>3</sup> (有収率 99.71%) となりました。

また、一日平均送水量は 36,924 m<sup>3</sup>で、一日最大送水量は令和 2 年 3 月 18 日に 43,169 m<sup>3</sup>を記録しました。

### 2 経理の状況

令和元年度下半期における経理の状況は、次のとおりとなりました。

#### (1) 収益的収入及び支出

(消費税及び地方消費税込)

区 分	予 算 額	執 行 額	執 行 率
収 入	1,889,231,000 円	(1,095,773,224 円)	(58.00 %)
		1,909,549,983 円	101.08 %
支 出	1,640,352,000 円	(933,718,234 円)	(56.92 %)
		1,593,767,994 円	97.16 %

( ) 内は、下半期執行額

下半期における収入の主なものは、用水供給料金 944,641,228 円、構成団体補助金 430,000 円、構成団体負担金 4,671,171 円及び頭首工維持管理経費負担金 1,432,937 円でした。

なお、長期前受金戻入については、下半期相当分 144,572,661 円を計上しました。

支出の主なものは、議会及び監査費 1,531,847 円、総係費 23,705,889 円、原水及び浄水費 286,299,421 円であり、支払利息は 52,542,156 円でした。

なお、減価償却費については、475,887,926 円、資産減耗費については、6,562,364 円を下半期相当分として計上しました。

この結果、収益的収入支出差引(消費税及び地方消費税抜き)において純利益 299,618,420 円を生じ、当年度未処理欠損金は、2,744,287,417 円となりました。

(2) 資本的収入及び支出

(消費税及び地方消費税込)

区 分	予 算 額	執 行 額	執 行 率
収 入	219,029,000 円	(207,929,000 円) 207,929,000 円	(94.93 %) 94.93 %
支 出	1,089,851,000 円	(631,568,972 円) 1,079,422,897 円	(57.95 %) 99.04 %

( ) 内は、下半期執行額

下半期における収入は、企業債 177,100,000 円、構成団体からの出資金 30,829,000 円で、支出については、建設改良費 177,805,100 円、企業債償還金 453,763,872 円でした。

この結果、資本的収入が資本的支出に対する不足額 871,493,897 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 16,163,569 円、過年度分損益勘定留保資金 611,445,473 円及び当年度分損益勘定留保資金 243,884,855 円で補てんしました。

3 財政状況

令和元年度の財政状況は、次の損益計算書及び貸借対照表のとおりです。

令和元年度十勝中部広域水道企業団水道用水供給事業損益計算書  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位 円)  
( )内は下半期執行額

1	営業収益	(861,010,536)	(861,010,536)	
(1)	給水収益	<u>1,481,308,191</u>	1,481,308,191	
2	営業費用	(1,528,901)		
(1)	議会及び監査費	3,097,660		
		(23,343,169)		
(2)	総係費	39,958,626		
(3)	原水及び浄水費	(263,265,450)		
		362,949,977		
(4)	減価償却費	(475,887,926)		
		951,818,998		
(5)	資産減耗費	(6,562,364)	(770,587,810)	
		<u>6,562,364</u>	<u>1,364,387,625</u>	
	営業利益			(90,422,726)
				<u>116,920,566</u>
3	営業外収益	(20,835)		
(1)	受取利息	39,026		
		(430,000)		
(2)	他会計補助金	430,000		
(3)	他会計負担金	(4,284,352)		
		5,125,052		
(4)	長期前受金戻入	(144,572,661)		
		287,296,888		
(5)	雑収益	(1,314,043)	(150,621,891)	
		<u>1,508,520</u>	<u>294,399,486</u>	
4	営業外費用	(52,542,156)		
(1)	支払利息	111,700,021		
		(1,611)	(52,543,767)	(98,078,124)
(2)	雑支出	<u>1,611</u>	<u>111,701,632</u>	<u>182,697,854</u>
	経常利益			(188,500,850)
				299,618,420
	当年度純利益			(188,500,850)
				299,618,420
	前年度繰越欠損金			3,043,905,837
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>0</u>
				(188,500,850)
	当年度未処理欠損金			<u><u>2,744,287,417</u></u>

令和元年度十勝中部広域水道企業団水道用水供給事業剰余金計算書  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位 円)

	資本金	剰余金					資本合計
		資本剰余金			利益剰余金		
		国庫補助金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	未処理 欠損金	利益剰余金 合計	
前年度末残高	16,452,293,000	34,901,884	2,252,330	37,154,214	△ 3,043,905,837	△ 3,043,905,837	13,445,541,377
処分後残高	16,452,293,000	34,901,884	2,252,330	37,154,214	(繰越欠損金) △ 3,043,905,837	△ 3,043,905,837	13,445,541,377
当年度変動額	30,829,000	0	0	0	299,618,420	299,618,420	330,447,420
他会計繰入金の受入	30,829,000	0	0	0	0	0	30,829,000
当年度純利益	0	0	0	0	299,618,420	299,618,420	299,618,420
当年度末残高	16,483,122,000	34,901,884	2,252,330	37,154,214	(当年度未処理欠損金) △ 2,744,287,417	△ 2,744,287,417	13,775,988,797

注 この計算書における△表記は、減少又は欠損を示すものである。

令和元年度十勝中部広域水道企業団水道用水供給事業欠損金処理計算書  
(単位 円)

	資本金	資本剰余金	未処理 欠損金
当年度末残高	16,483,122,000	37,154,214	△ 2,744,287,417
処分後残高	16,483,122,000	37,154,214	(繰越欠損金) △ 2,744,287,417

注 この計算書における△表記は、減少又は欠損を示すものである。

令和元年度十勝中部広域水道企業団水道用水供給事業貸借対照表  
(令和2年3月31日)

(単位 円)

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
(1)	有 形 固 定 資 産		
	イ 土 地		125,621,764
	ロ 建 物	3,679,131,074	
	減価償却累計額	<u>△ 2,430,749,638</u>	1,248,381,436
	ハ 構 築 物	25,045,671,036	
	減価償却累計額	<u>△ 12,011,340,179</u>	13,034,330,857
	ニ 機 械 及 び 装 置	6,544,668,586	
	減価償却累計額	<u>△ 4,670,389,596</u>	1,874,278,990
	ホ 工 具 器 具 及 び 備 品	61,213,464	
	減価償却累計額	<u>△ 57,543,840</u>	3,669,624
	ヘ 建 設 仮 勘 定		<u>5,300,000</u>
	有形固定資産合計		16,291,582,671
(2)	無 形 固 定 資 産		
	イ 水 利 権		26,550
	ロ ダ ム 使 用 権		9,747,924,848
	ハ 電 話 加 入 権		<u>464,100</u>
	無形固定資産合計		<u>9,748,415,498</u>
	固定資産合計		26,039,998,169
2	流 動 資 産		
(1)	現 金 預 金		852,839,486
(2)	未 収 金		138,386,749
(3)	貯 蔵 品		<u>15,052,115</u>
	流動資産合計		<u>1,006,278,350</u>
	資 産 合 計		<u>27,046,276,519</u>

(単位 円)

## 負債の部

3	固定負債			
(1)	企業債			
イ	建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,787,418,332	3,787,418,332	
	固定負債合計			3,787,418,332
4	流動負債			
(1)	企業債			
イ	建設改良費等の財源に充てるための企業債	838,160,719		
	企業債合計		838,160,719	
(2)	未払金		258,465,024	
(3)	引当金			
イ	賞与引当金	4,830,687		
	引当金合計		4,830,687	
(4)	預り金		111,954	
(5)	預り保証金		1,000,000	
	流動負債合計			1,102,568,384
5	繰延収益			
(1)	長期前受金			
イ	国庫補助金	16,029,956,800		
ロ	工事補助金	186,671,850		
ハ	その他の他	1,083,000		
	長期前受金合計		16,217,711,650	
(2)	長期前受金収益化累計額			
イ	国庫補助金	△ 7,739,016,172		
ロ	工事補助金	△ 97,365,622		
ハ	その他の他	△ 1,028,850		
	長期前受金収益化累計額合計		△ 7,837,410,644	
	繰延収益合計			8,380,301,006
	負債合計			13,270,287,722
資本の部				
6	資本金			16,483,122,000
7	剰余金			
(1)	資本剰余金			
イ	国庫補助金	34,901,884		
ロ	その他の資本剰余金	2,252,330		
	資本剰余金合計		37,154,214	
(2)	欠損金			
イ	当年度未処理欠損金	2,744,287,417		
	欠損金合計		2,744,287,417	
	剰余金合計			△ 2,707,133,203
	資本合計			13,775,988,797
	負債資本合計			27,046,276,519

#### 4 令和2年度予算の概要及び事業の経営方針

令和2年度の年間送水量は14,508,000 m<sup>3</sup>、一日平均送水量を39,748 m<sup>3</sup>と定め、住民の皆様が安心して水道を利用することができるよう安定供給に努めます。

令和2年度の予算は、次のとおりです。

##### (1) 収益的収入

(消費税及び地方消費税込)

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増 △ 減
営業収益	1,262,732 千円	1,594,437 千円	△ 331,705 千円
営業外収益	292,604 千円	294,794 千円	△ 2,190 千円
収入合計	1,555,336 千円	1,889,231 千円	△ 333,895 千円

前年度と比較すると、営業収益については、基本料金単価減に伴い用水供給料金が331,705千円の減、また、営業外収益については操出基準対象企業債の償還終了に伴う構成団体補助金の減により430千円の減、長期前受金戻入が2,203千円の減となります。

この結果、収益的収入においては333,895千円の減となります。

##### (2) 収益的支出

(消費税及び地方消費税込)

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増 △ 減
営業費用	1,466,378 千円	1,433,253 千円	33,125 千円
営業外費用	164,997 千円	204,099 千円	△ 39,102 千円
予備費	3,000 千円	3,000 千円	0 千円
支出合計	1,634,375 千円	1,640,352 千円	△ 5,977 千円

前年度と比較すると、営業費用については原水及び浄水費で40,319千円の増、減価償却費で1,228千円の減、資産減耗費で6,518千円の減、営業外費用においては、支払利息が25,727千円の減となるほか、消費税及び地方消費税額は13,375千円の減となります。なお、予備費は3,000千円を計上しております。

この結果、収益的支出は5,977千円の減となり、収益的収入支出差引（消費税及び地方消費税抜き）による当年度純損失は78,044千円となる見込みです。

(3) 資本的収入

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増 △ 減
企 業 債	38,100 千円	188,200 千円	△ 150,100 千円
出 資 金	20,405 千円	30,829 千円	△ 10,424 千円
国庫補助金	15,303 千円		15,303 千円
収 入 合 計	73,808 千円	219,029 千円	△ 145,221 千円

前年度と比較すると、企業債は 150,100 千円の減、構成団体からの出資金は 10,424 千円の減、また、国庫補助金は 15,303 千円の増となります。

(4) 資本的支出

(消費税及び地方消費税込)

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	増 △ 減
建設改良費	73,884 千円	188,232 千円	△ 114,348 千円
償 還 金	838,162 千円	901,619 千円	△ 63,457 千円
支 出 合 計	912,046 千円	1,089,851 千円	△ 177,805 千円

前年度と比較すると、建設改良費は 114,348 千円の減となります。また、償還金については、企業債償還金が 63,457 千円の減となります。

この結果、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 838,238 千円は、損益勘定留保資金などで補てんいたします。